

2025

4 April

Rotary International District2740

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

2024-25年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 石坂 和彦

月信 Vol. 10



大村神社のオオムラザクラ



2024-25 年度 国際ロータリーのテーマ



Index

Governor's message		1
第4GグループIM開催御礼		2
第3グループIM報告		7
グローバル補助金事業報告		8
地区チーム研修セミナー開催報告		10
ロータリー奉仕デー報告		11
地区補助金管理セミナー報告		12
唐津東RC60周年記念事業報告		13
2025年1月会員数・出席報告		14
新会員紹介・寄付者紹介		15
大村の価値再発見伝		裏表紙

Governor's message

森林を護ろう！植樹に力を注ごう！！

2024-25 年度 第 2740 地区 ガバナー 石坂 和彦

「4月は環境月間です。天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境の調和を促す活動をする」

今世界中で様々な困難・苦難・危機に直面している方々が、とんでもない数に上っています。例えば、「紛争」などによって住む場所を失った人、約980万人、「気候変動」の影響で済む場所を失った人、約3070万人に上っています。2050年には2億人を超すという試算も。(引用：2024年4月24日 日本経済新聞)

私は、かねてより森林の持つ環境保護の役割について興味を持ってきました。この度の三陸の大船渡地方の大森林火災による甚大な被害には胸の痛む思いです。ロータリアン皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。ご承知の通り、森林の再生、樹木の再生には、膨大な年月がかかります。失われたものを取り戻すことは不可能な場合もあります。世界の森林は乱伐と消失が進んでいます。地球の砂漠化が留まるところを知りません。

2年ほど前、国連事務総長グテーレス氏の言葉を借りれば、

“Global Warmingの時代から、Global Boiling”(地球温暖化から地球沸騰化の時代)と言われるほどに地球環境は悪化の一途を辿っています。

今年度の当地区事業の一環に、月桂樹プロジェクトを考えたのもそのような経緯があったからです。この場を借りて、皆様方よりご賛同ご支援を頂いていることに感謝申し上げます。これから私たち地球市民は、ロータリアンは、どうすればいいのか！

なんとしてでもこの青い地球を青い地球として子々孫々に残す義務があるのです。様々な方法が考案されています。私が最も期待を寄せているのが、積もりに積もった二酸化炭素(CO₂)を大気から直接回収し地下に注入する直接空気回収(DAC)の技術です。が、今はまだ炭素除去の0.1%を担っているに過ぎません。そのほか太陽光発電、カーボンニュートラル、特定の鉱物にCO₂を吸収させる等々危機感をもって検討研究されています。ただし植物の光合成にもCO₂が欠かせないことも事実です。

『世界のエネルギー需要を満たしつつ、自分たちが生み出した問題を解決する。それは不可能な課題ではありません。』(アリゾナ州立大学ラックナー氏)

私たちも身近な事から行動しなくてはなりません。時は今しかありません。ロータリーは日々活動を続けていきます。

第4グループインターシティミーティング開催御礼

2024-25 年度 第 2740 地区 ガバナー 石坂 和彦

第4グループのIMが、濱口吉治ガバナー補佐の卓越したリーダーシップと、ホストクラブ唐津中央ロータリークラブ、コホストクラブ、唐津ロータリークラブ、唐津東ロータリークラブ、唐津西ロータリークラブの献身のご尽力により、素晴らしい内容と運営のもと開催されました。本年度ガバナーとして各グループガバナー補佐の方々には、インターシティミーティング（IM）の開催をお願い致しております。そしてしっかりと各グループにおいて開催して頂いております。ロータリーは学びの場です。創始の心を忘れることなくロータリーの中核的価値観を基本としつつ、クラブ活性化を念頭に活動して頂いております。

去る3月15日（土）のIMでは、約140名のロータリアンが出席され、国歌並びにロータリーソング斉唱から、基調講演・各クラブ会長によるオープンミーティングと懇親・親睦会まで楽しく有意義な中に閉会を迎えました。

不肖私、濱口ガバナー補佐の命を受け基調講演を50分間担当させて頂きました。演題は地区基本方針でもある「ロータリーの価値の再発見」でした。（当日のパワーポイント資料を参考にして頂ければ幸いです。）

その後の濱口ガバナー補佐のコーディネートによる「クラブ活性化に向けての取り組み」は、正に圧巻でした。事前のアンケートに基づく具体的事例と解決に向けた取り組みは、当地区でも是非参考すべき課題であろうと感じました。

加えて、この日の研修を後々のために記録書として残すという取り組みにも敬意を表します。

『親睦と融和とロータリー』このIMテーマと共に、貴第4グループ、ひいては当地区のますますの成長発展を確信致しました。ありがとうございました。





**国際ロータリー第2740地区 2024-25年度
第4グループ
インターシティ・ミーティング (IM)**

国際ロータリー 第2740地区 2024-25年度ガバナー 石坂 和彦

2025年3月15日

1

国際ロータリー 2024-25年度テーマ

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック氏



会員の積極性を引き出し、
充実したクラブ体験を提供できれば
クラブは より強く
より魅力的で
より楽しいものになります



2024.12.12
ロータリー研究会
横浜にて

1

2

**楽しくなければ
ロータリーではない！**

和気藹々 楽しいロータリークラブ
ロータリー32年の中でつかったこと
知ること
好きになること
楽しむこと

“知することは、好きになることに如かず
好きになることは、楽しむことに如かず”

2

3 ロータリーとは何なのか！？

ロータリーの価値の再発見とは

ロータリーを語り合うことから、スタートするのではないか

一人一人の会員の皆様が、どう感じているのか、
どう考えているのかが、大切！

各クラブが主役、会員一人一人が主役！！

3

4 行動にかかっている！

◆魂が入っているかどうか！

映画 恋するピアニスト より フジコ・ヘミング

◆スティーブ ジョブス 『Think Different!』

人と違うことを考えよ

自分が世界を変えられると、

本気で信じる人が世界を変える

4

『陽はまた昇る』

谷村新司

陽はまた昇る
どんな人の心にも
あゝ生きてるとは
燃えながら暮らすこと



5

5 伝えること！！ (其の一)

六つの感性（センス）とは？

ハイコンセプト「新しいこと」を考え出す人の時代より
ダニエル・ピンク

- ・機能だけでなく「デザイン」
- ・議論よりは「物語」
- ・個別よりも「全体の調和（シンフォニー）」
- ・論理ではなく「共感」
- ・真面目だけでなく「遊び心」
- ・モノよりも「生きがい」

6

6 伝えること！！ (其の二)

【2024年12月14日～15日 第53回ロータリー研究会に参加して】

- ◆ロータリーを育てよう！共に行動しよう
⇒ 継続していこう
- ◆目をかけ、声をかけ、心をかけ、みんな家族・仲間だ！
- ◆クラブでの体験こそ、マジックの宝庫

30年後！を見なければならない！

7

7 伝えること！！ (其の三)

【2024年12月14日～15日 第53回ロータリー研究会に参加して】

未来への希望 ⇒ 世界平和を広げる
私たちは「ピースビルダー」です

◆日加6つの優先協力分野

- ・法の支配
- ・平和維持活動、
平和構築および人道的支援、災害時救援
- ・健康安全保障
- ・エネルギー安全保障
- ・自由貿易の促進
- ・環境および気候変動

◆ロータリー7つの重点分野

- ・平和の推進と紛争予防
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・地域社会の経済発展
- ・環境の保護

駐日カナダ特命全権大使 兼 インド太平洋地域 担当特使 イアン・マッケイ氏より

8

8 人間社会の本質とは

ロータリアンは本当に、人柄が良い！

能力より人柄！

温かい人間関係の中で生まれる、エネルギー！

人間社会の本質とは



『温かい人間の心』

これこそロータリーの求める本質である

【和 以 為 貴】和を以て貴しとなす

9

9 最後に・・・

皆さん！カルガリー国際大会で
会いましょう！

第2740地区 石坂ガバナーナイト開催！

日時：2025年6月22日（日）

18：30～20：30

会場：HY's Calgary

会費：無料

多くの方々のご参加を心より
お待ちしております

10



ご清聴誠にありがとうございました

11

第3グループ IMの報告

会長 福田 文夫（嬉野RC）

2025年2月16日（日曜日）、石坂ガバナー、森地区幹事、第3グループ村島秀典ガバナー補佐、そして当日の講演講師・チベット出身、歌手 バイマーヤンジンさんをお迎えし、第3グループから約100名のロータリアン参加のもと、嬉野観光ホテル大正屋千種の間において第3グループのIMを開催しました。

講演講師のバイマーヤンジンさんについては嬉野ロータリークラブの創立50周年を祝う式典に来ていただくことになっていましたが2020年に発生したコロナ感染のために開催を断念したことでした。そういった経緯のもと、村島ガバナー補佐の強い思いで今回実現したわけです。

「私の教育への思い・晴れ上がった空のように」

「バイマーヤンジンこころのコンサート」

という演題で力強いご講演をいただきました。

バイマーヤンジンさんは1994年来日後、日本でただ一人のチベット人歌手として全国各地で講演会・コンサートなど行い活動しておられ、チベットの学校建設活動も大きな成果を上げ、今日まで9つの小学校と1つの中学校が開校、大学生への奨学金支援も20年以上続けておられます。また、当日会場においてロータリアンの温かい気持ちを募金箱に入れていただき手渡すことができました。

最後に、石坂ガバナーはじめ、第3グループのロータリアンの皆様のご協力によりIMを開催できたこと心より感謝申し上げます。



グローバル補助金事業報告

グローバル補助金事業

「ソーラー灌漑施設敷設による農民救済プロジェクト」

小西 研一（佐世保北 RC）

佐世保北ロータリークラブは2022年6月より、フィリピンのマリキナウェストロータリークラブと共にグローバル補助金事業として、フィリピンケソン州パグサンハンにおける、ソーラー灌漑施設敷設による農民救済プロジェクトを推進してきました。

グローバル補助金事業とは、実施国のクラブと援助国のクラブが共同で行う事業であり、同事業には双方のクラブが出資するほか、国際ロータリーから資金援助がなされます。今回の事業は総額 US\$90,853（150 円換算で約 1,360 万円）にも上る比較的規模の大きい事業となりました。

きっかけは佐世保北ロータリークラブが創立 40 周年を迎えるに当たり、何か地域社会のために役に立つ事業をと探していましたが、フィリピンの同クラブが協力クラブを探していることを専用のサイトで知りました。当初、コンタクトの仕方が分からず、同クラブのHPに書き込みを行ったところ、先方の会員から携帯に電話がかかってきたのがことの始まりでした。

事業の実施地パグサンハンがあるサンフランシスコ自治区は、人口の約 8 割が農業及



び漁業事業者で、農業はココナツの生産が中心です。米は地域で消費する分しか生産しておらず、農業技術が進んでいないため、降雨に依存せざるを得ない状況でした。過去にはディーゼルエンジンで稼働するポンプで、地域を流れる川より水を汲み上げて田に水を供給していたことがありましたが、うまくいきませんでした。燃料のコストが高く、採算が合わなかったからです。

今回の事業では、動力をソーラーパワーに変更することにより燃料コストがかからず、更には既存の水路を補修し、活用することにより、田への供給路を確保しました。灌漑エリア 50 ヘクタールの耕作に要する水量は 6 ヶ月で 17 万 5 千 m³ですが、ソーラーパワーで稼働するポンプは 6.5 時間 / 日の稼働で 929 m³の水量の供給が可能であり、6 ヶ月間では



必要量を上回る約 18 万 1 千 m^3 の供給が可能となりました。

地元農民はこれまで一毛作しかできませんでしたが、これにより二毛作が可能になります。これまで自分たちの口に入る分の米しか生産できていませんでしたが、これからは余剰分を周辺地域で販売することが可能になります。また、生産コスト削減により実入りが増え、生活レベルの向上に繋がります。さらには同地域における農業従事者はこれまで 68 家族でしたが、生産量の拡大に伴い、あらたに 28 家族が入植してくる見込みです。

2 月 23 日に行われた竣工式には、両ロータリークラブのメンバーのほか、サンフランシスコ自治区の Kresna Fernandez 市長、バラ

ンガイキャプテン（自治体長）の Jose Marie Desabille 氏、そして農民が参加し、盛大に行われました。昨年 4 月に視察のために現地訪問した際にはポンプは稼働しておらず、田はからからに干からびていましたが、今回、新設されたポンプが勢いよく水をくみ上げ、田になみなみと水が供給されているのを目の当たりにした時、胸が熱くなるのを感じました。農民の顔にも一様に笑顔が見られ、今回の事業の意義をあらためて認識しました。ご協力頂きました第 2740 地区ガバナー事務所、地区ロータリー財団委員会の皆さまにはこの場をお借りし、心より感謝申し上げます。



地区チーム研修セミナー開催報告

実行委員長 勝山 広孝（唐津中央 RC）

「会員増強と活性化に不可欠な要素は、革新と継続性とパートナーシップである。」国際ロータリー第2740地区では、2025-26年度に向けたクラブ運営の充実と指導力向上を目的に、3月9日、「地区チーム研修セミナー」を開催しました。

石坂和彦ガバナーの挨拶の後、RI ラーニングファシリテーターであり、元国際ロータリー会員強化委員でもある安間みち子氏（あんまみちこ 浜松ハーモニーロータリークラブ）より、2025-26年度の国際ロータリーの方針について説明をいただきました。会員やクラブの課題に対して、他地区の成功事例や、各クラブが実践できる具体的な戦略をお示し頂くとともに、ロータリーの魅力を伝えるストーリーづくりの重要性や、地域社会に踏み込んだ先に活動の強化が、会員確保と成長につながる事が強調されました。

その後、塚崎寛パストガバナーより研修会の進め方について説明があり、各班別の分科会に分かれ、ラーニングファシリテーターによるディスカッション形式にて、活発な討論が行われました。

今回の研修セミナーにより、第2740地区のリーダーを中心に、未来のロータリーを見据えた行動を起こすための大きな一歩を踏み出すことができました。今後も、各クラブが連携しながら、地域社会に貢献する持続可能なロータリー活動を展開していきたいと思います。



ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト報告

社会奉仕委員会委員長 高比良耕一（佐世保東南 RC）

「ロータリー奉仕デー」事業を実施されたクラブを追加報告いたします。（前回はガバナー月信 No. 8 に掲載）
たくさんのご参加をいただき、深く感謝申し上げます。

佐賀西 RC



佐賀市の玄関口「JR 佐賀駅まえ交流ひろば」の
環境美化活動

佐賀北 RC



佐賀城内公園の清掃活動

佐賀南 RC



東よか干潟海岸清掃活動

地区補助金管理セミナー報告

ロータリー財団委員会委員長 岡村 康司（長崎南 RC）

次年度 2025-2026 年度の補助金事業を対象とした「地区補助金管理セミナー」を 2 月 2 日の 13 時 30 分より大村市の長崎インターナショナルホテルにて開催しました

このセミナーを受講しなければ地区内クラブは地区補助金を受給できないことになっているので一部のクラブを除いてほとんどのクラブの次年度会長幹事に出席してもらいました。

本セミナーの主旨は地区補助金の申請マニュアルを理解してもらうことにあります。次年度の補助金を活用するクラブのために西川義文補助金委員長（大村）が担当しました。また、あまり知られていない 2740 地区のロータリー財団委員会の活動を知っていただくことも重要であると考え今年は①ポリオ撲滅活動としてネパールで実施した「ポリオワクチン投与事業」の報告を吉岡義治ポリオプラス委員長（佐賀南）②グローバル補助金（GG）奨学生の現在の状況を 2014-2015GG 奨学生の片岡一生君に「グローバル補助金の恩恵」と題して講演をいただきました。

全部で約 3 時間の長丁場でしたが貴重な日曜日に参加いただいたメンバー諸氏には有意義なセミナーであったと思います。また石坂ガバナーと辻ガバナーエレクトがご欠席だったため中島ガバナーノミニ、駒井パストガバナー、塚崎パストガバナーにコーディネートをお願いしました。ありがとうございました。

当 2740 地区はこれまではいろんな奉仕活動で全国 34 地区の全国標準に達しておらずこれからの頑張りが期待されています。私事になりますが 2019 年度より財団委員長を任せ 8 年間自分なりに頑張ってきましたがじゅうぶんではなく、次期委員長の吉岡さんの手腕に期待しています。少し早い退任あいさつを兼ねセミナーご参加のお礼を申し上げます。

長い間ありがとうございました。



唐津東ロータリークラブ創立 60 周年並びに 台湾員林扶輪社姉妹締結 50 周年記念報告

会長 平野 功二郎（唐津東 RC）

令和 7 年 2 月 8 日の極寒の日、唐津シーサイドホテルにて創立 60 周年並びに台湾員林扶輪社との姉妹締結 50 周年記念式典を開催致しました。

当日は佐賀南ロータリークラブの創立 40 周年と重なり、石坂和彦ガバナーと森広康地区幹事には佐賀と唐津の掛け持ちで大変な辛苦労をお掛けしましたが、御来賓の駐福岡台湾総領事館の陳銘俊総領事をはじめとして、員林扶輪社、福岡城西ロータリークラブ、多久ロータリークラブ、第 4 グループの各クラブからたくさんのロータリアンに出席して戴き盛大に執り行うことができました。

唐津東ロータリークラブは、唐津ロータリークラブをスポンサークラブとして 1965 年 1 月に発足しました。創立 10 周年の折、福岡城西ロータリークラブの友情と橋渡しのおかげで、台湾員林扶輪社と姉妹締結を結ばせて頂き、三クラブでの相互訪問をはじめ親睦ゴルフなどを通じて半世紀に亘って交流を深めてきました。この式典を開催するにあたり、

「ムスブ想い、むすびに感謝」というスローガンを掲げさせて頂きましたが、60 年という日々を振り返った時に、どれだけ多くの人のご縁や結びつきがあったかを改めて考えさせられました。

これからより一層相互交流を深化発展させ、クラブとして奉仕活動は元より国際理解と平和に少しでも貢献していきたいと考えています。

今回の創立 60 周年を期に、当クラブのホームページを一新してアーカイブ化することで、60 年の軌跡を写真と記事で一覧できるようになりました。当日の様子もご覧になれますので是非一度覗いてみて下さい。



2025 年 1 月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月				累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	4	69.5	78	9	78	9	0	1	-1	0	
	小城	3	60.9	28	4	30	4	0	0	0	2	
	牛津	3	67.8	29	0	29	0	0	1	-1	0	
	多久	4	67.9	36	6	34	6	0	0	0	-2	
	佐賀大和	4	57.3	24	6	24	6	0	0	0	0	
	小計		64.7	195	25	195	25	0	2	-2	0	
第2グループ	佐賀西	3	73.6	36	4	40	4	0	0	0	4	
	佐賀北	3	57.2	44	3	45	3	0	0	0	1	
	佐賀南	4	67.4	46	6	48	6	0	0	0	2	
	神埼	4	71.8	39	4	39	4	0	0	0	0	
	佐賀空港	2	56.3	16	0	16	0	0	0	0	0	
	小計		65.2	181	17	188	17	0	0	0	7	
第3グループ	有田	3	65.4	31	2	26	2	0	0	0	-5	
	武雄	3	84.9	44	3	42	2	0	0	0	-2	
	鹿島	4	89.3	28	5	28	5	0	0	0	0	
	嬉野	4	75.0	26	2	26	2	0	0	0	0	
	大町	3	64.4	15	0	15	0	0	0	0	0	
	太良	4	88.9	9	0	9	0	0	0	0	0	
	小計		78.0	153	12	146	11	0	0	0	-7	
第4グループ	唐津	4	83.5	54	0	56	0	0	0	0	2	
	伊万里	4	88.9	27	0	27	1	0	0	0	0	
	唐津東	4	91.2	49	2	51	2	2	0	2	2	
	唐津西	4	89.1	25	0	26	0	0	0	0	1	
	伊万里西	4	83.3	34	5	34	5	0	0	0	0	
	唐津中央	4	91.3	33	4	34	4	0	0	0	1	
	小計		87.9	222	11	228	12	2	0	2	6	
第5グループ	佐世保	4	63.3	73	0	77	1	1	0	1	4	
	平戸	4	68.2	23	4	22	4	0	0	0	-1	
	北松浦	4	84.6	23	2	26	2	0	0	0	3	
	佐世保西	3	73.8	21	4	23	5	0	0	0	2	
	松浦	4	81.4	23	0	26	0	0	0	0	3	
	小計		74.3	163	10	174	12	1	0	1	11	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月				累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	58	2	57	2	0	0	0	-1	
	佐世保東	4	69.9	27	1	26	1	0	0	0	-1	
	佐世保北 (衛星クラブ14名)	4	95.5	52	5	54	6	0	0	0	2	
	佐世保中央	4	86.8	54	3	54	3	0	0	0	0	
	佐世保東南	3	74.0	27	0	28	1	0	0	0	1	
	HTB佐世保	4	80.0	23	3	23	4	0	0	0	0	
	小計		84.4	241	14	242	17	0	0	0	1	
第7グループ	大村	3	83.3	39	4	42	4	0	0	0	3	
	島原	4	75.9	29	2	26	2	0	1	-1	-3	
	大村北	3	78.6	23	1	27	1	1	0	1	4	
	島原南	2	67.6	18	3	17	2	0	0	0	-1	
	大村東	3	85.6	36	6	37	6	0	0	0	1	
	小計		78.2	145	16	149	15	1	1	0	4	
	第8グループ	諫早	4	72.4	72	0	73	0	0	0	0	1
諫早北		4	83.9	76	3	76	3	0	0	0	0	
諫早西		3	82.7	49	3	50	3	0	0	0	1	
諫早多良見		4	81.5	27	2	27	2	0	0	0	0	
雲仙 諫早南		2	87.5	13	4	12	3	0	0	0	-1	
小計			81.6	237	12	238	11	0	0	0	1	
第9グループ		長崎	4	80.3	61	2	63	2	1	0	1	2
	福江	3	53.0	28	0	30	0	0	0	0	2	
	長崎北東	3	73.6	36	2	38	2	1	0	1	2	
	福江中央	4	95.6	18	1	18	1	0	0	0	0	
	長崎西	4	75.4	35	1	35	1	0	0	0	0	
	長崎琴海	3	66.7	7	0	7	0	0	0	0	0	
	小計		74.1	185	6	191	6	2	0	2	6	
第10グループ	長崎北	3	75.9	71	1	70	1	0	1	-1	-1	
	長崎南	4	72.8	69	0	70	1	0	0	0	1	
	長崎東	4	71.5	42	2	41	2	0	0	0	-1	
	長崎みなと (衛星クラブ10名)	3	80.2	24	1	33	7	0	0	0	9	
	長崎中央	3	91.6	43	2	44	2	0	0	0	1	
	長崎出島	4	75.0	73	10	72	10	0	0	0	-1	
	小計		77.8	322	16	330	23	0	1	-1	8	
55クラブ合計				77.0	2,044	139	2,081	149	6	4	2	37

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2024年7月1日から2025年1月末までの増減です。

新会員紹介 私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



唐津東 RC

市丸雄一郎 君

(株)イチマル家具センター
代表取締役



唐津東 RC

世戸 耕平 君

(株)上場食肉
代表取締役



佐世保 RC

林 魁愼 君

プラス事務所司法書士法人
長崎統括マネージャー



大村北 RC

鳥越 真一 君

鳥越歯科
院長



長崎 RC

坂部 了一 君

農林中央金庫
支店長



長崎北東 RC

加藤 貴大 君

弁護士法人大村綜合法律事務所
時津オフィス 弁護士

寄付者紹介 御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
ポール・ハリスフェロー	芹野 隆英	佐世保 RC
	中本 幸人	長崎北 RC
ポリオプラス	溝口 尚則	佐世保 RC

ポリオ・ワンコイン BOX 報告

今月分 BOX 金額	156,148 円	累計金額	2,451,333 円
------------	-----------	------	-------------

Re:discover the Value Omura

大村の価値再発見伝

春爛漫

大村公園は県内唯一の「さくら名所100選の地」

文章・資料提供:株式会社タメナガ造園 代表取締役 為永一夫(樹木医)



長岡 安平

長岡安平ー近代公園の先駆者

明治維新のころ、新しい街づくりのため、首都東京をはじめ全国の都市では公園建設が競って行われました。当時明治・大正期における公園建設の第一人者として活躍したのが長岡安平です。彼の実績と名声は全国におよび、近代公園の先駆者として高く評価されています。

天保13年(1842)、大村藩東彼杵村に生まれ郷土の自然の中に最善の師を見出し独学で造園の研究を行いました。そして郷土の先輩である当時の東京府知事楠本正隆との出会いのなかで、東京都の公園整備の任を任せられました。長岡安平はこの公園整備の中で、東京の芝公園等を設計しました。そして明治29年(1896)に手掛けた千秋公園(秋田県)は高く評価されています。郷土大村では、明治17年(1884)、長岡安平は大村公園に桜の苗1,000本を植えました。そして20年後帰省した折桜は立派に成長し、県内はもとより県外からもわざわざ花見に来るようになっていました。長岡安平のお陰で大村の人々は群植して咲く桜の美しさを早くから知ること



現在の大村公園二重馬場



明治37(1904)年頃の大村公園二重馬場(約120年前)

が出来ました。その後大高坂、国道34号、旧円融寺、郡川堤防、野岳湖等に植栽し桜の街づくりが始まり、今日に至っています。



オオムラザクラ(外花の中から内花が咲く2段咲き)



クシマザクラ(葉化した雌しべの中から花弁が出る)

オオムラザクラとクシマザクラ

大村公園は県内で唯一「さくら名所100選の地」に選ばれています。それは「歴史が古い」、「まとまった本数がある」、「種類が多い」等の理由ですが、特に国指定天然記念物のオオムラザクラ、県指定天然記念物のクシマザクラは貴重で大村公園の価値を高めています。

オオムラザクラは「平戸二度咲きさくらの会」の資料によると、明治17年(1884)旧平戸藩主から旧大村藩士・坂本半四郎が貰い受け、大村神社に植えたという記録があります。この桜について故外山三郎教授は、花びらの数が多く、全ての花が二段咲きであることが特徴で、オオムラザクラと命名されました。このオオムラザクラは花びらが多いもので200枚にもなる貴重な桜として、昭和42年(1967)九州では唯一国指定天然記念物に指定されました。

クシマザクラは、里桜の名花「普賢象」の花の一部が二段咲きで、象の鼻に似ためしべが葉化してがく片の働きをし、不完全な内花を包みこんでいます。花びらの数は約45枚、ピンク色の大型で上品な花で、同じく昭和42年(1967)県指定天然記念物に指定されました。

編集後記

寒暖の差の激しい3月も終わり、春らしい4月となった今日この頃。各ロータリークラブの皆様におかれましても、次年度のスタートに向けて準備にお忙しいところかと存じます。春爛漫の季節に合わせ、クラブ会員皆様の親睦の花を咲かせて、楽しいロータリーライフを送ってみませんか。

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒856-0832
長崎県大村市本町458番地2 中心市街地複合ビル1階
TEL0957-51-6439 FAX0957-51-7054
E-mail:ri2740ishizaka@octp-net.ne.jp



WEBサイト